

大甕小学校通信

平成30年度 12月号
文責：大甕小学校長 林 典行

年末・新年に向けて ～家族・地域との絆を～

いよいよ師走です。平成30年も残すところあとわずかとなり、何かと慌ただしい時期となりました。

私が小学生の頃の年末を振り返りますと、大掃除は家族総出で行っていました。父親が障子の張替、私は家じゅうのガラス磨きと風呂掃除など、家族一人ひとりがそれぞれ役割分担しての毎年恒例一大イベントだったことを記憶しています。大晦日は、ひとつのこたつで紅白歌合戦、行く年来る年をわいわい見ながら除夜の鐘を聞き、元朝参りに行きました。

テレビは居間に1台だけが当たり前、スマホもPCもない時代でしたので、1部屋に家族が集まる時間が長くなるのは必然のことであり、その分、家族同士のコミュニケーションも濃厚だった気がします。テレビチャンネルの取り合いやケンカもしましたが、家族の会話は絶えませんでした。

最近、家族の会話が減少したということをよく耳にします。子ども部屋にこもってゲームやスマホに熱中する子どもたち、仕事で忙しい大人たち……。アナログからデジタルへ、集団から個人へといった社会全体の変化が、家族を取り巻く環境に大きな影響を与えているようです。

そのような時代だからこそ、意識的にコミュニケーションする場を設ける工夫が必要なのではないでしょうか。年末年始は様々な行事が目白押しです。新年を迎えるにあたり、家族の団欒や地域との絆を深める大切な季節であると考えます。



ふるさとのよさを探る

3年生以上の学年では、今学期より総合的な学習の時間等で、ふるさとのよさを探る「ふるさと学習」を進めています。ふるさとの名産品、報徳仕法、地元で活躍する企業、野馬追や盆歌等、学年によって学習している内容は様々ですが、子どもたち一人ひとりが主体的となって、興味深く学習している様子が見



られます。

この「ふるさと学習」は、市の担当課や博物館、地元企業の皆様、NPO法人の方々等のご協力をい

ただいて進めているところですが、更に、家庭や地域の方々のお力も頂戴して発展していけたらいいなと思っております。

来年度は、この「ふるさと学習」を本校の特色ある教育としてしっかり位置付け、社会や家庭・地域と学校が手を携えて、ふるさとの良さに気づき、ふるさとを誇りに思う子どもたちを育てていきたいと考えているところです。

12月の予定

- 2日(日) 野馬追の里健康マラソン
- 4日(火) 世代間交流事業「ポーセラシングアート」
- 7日(金) 防災引き渡し訓練
- 21日(金) 終業式 11:40下校



12月29日～1月3日は学校閉庁日となります